

開催日：令和6年 5月7日(火) 予備日：令和6年 5月21日(火)
開催コース：赤穂国際カントリークラブ

兵庫県ゴルフ連盟

ローカルルール

1. 《境界》

- (1)アウトオブバンズの境界は白杭で、レッドペナルティエリアは赤杭又は赤線で示す。
- (2)共通OB杭：5番と6番の間、10番と13番の間、共通のOB杭を越えた球はアウトオブバンズの球となる。
- (3)修理地は青杭又は白線で示す。

2. 《特設箇所》

3番・4番・6番・7番・8番・9番・10番・11番・12番・13番・14番・15番・16番・17番・18番の各ホールで、第1打がOB又は紛失球の場合、特設ティよりプレーイング4、5番はプレーイング5でプレーしなければならない。

3. 《障害物》

コース内の防護ネット、樹木の支柱、階段、舗装された道路、カート道、排水溝はすべて障害物とみなし、罰なしに1クラブレングス以内でホールに近づかない箇所にドロップすることができる。

4. 《その他》

球が1番ホールと9番ホールを示す黄色杭を越えた場合は、1打罰とし、現にプレーしているホールに戻し、ホールに近づかない箇所にドロップする事ができる。

(場所に制限無し)

使用していないグリーンでの全てのプレーを禁止する。

コース内にある隆起した木の根は修理地とする。

5. 特定の用具の使用制限

- a. 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
- b. 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
- c. 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。

6. 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。

7. プレーの中断と再開

(1)プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則 5.7a, b, c, d に従って処置すること。

(2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

競技者がすぐにプレーを中断しなかったとき、規則 5.7b に定められている、プレーを止めなかったことが正当であると委員会が裁定した場合、罰はない。

(3)プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：長いサイレンを鳴らして通報する。カートナビにて通報する。

険悪な気象状況による即時中断：長いサイレンを鳴らして通報する。カートナビにて通報する。

プレーの再開：短いサイレン3回鳴らして通報する。カートナビにて通報する。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
4. 移動
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
5. タイの決定
順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。
6. 通過者
2次予選会への通過者決定は、Hdcp Index Aクラス(0.0~9.9) Bクラス(10.0~18.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて40名の方が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与します。
7. 本競技のスコアをプレーヤーもしくはプレーヤーの所属するゴルフクラブがJ-sysに登録する際は、スコアタイプのラウンド種別を「競技」に指定して登録すること。

注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 青マーク 女性ティーマーク： 赤マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレーヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1籠までとする)
9ホール終了後、練習グリーンでのパッティング練習は可とする。(本競技はスループレーではない)
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のHdcp Index 証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

競技委員長 尼子 佳代